

連結財務諸表

連結貸借対照表(要約)

たな卸資産の効率化が進む

たな卸資産は前年同期末比98.3%の281億円となり、第2四半期累計期間の売上高前年同期比107.2%を大きく下回りました。2018年3月期は、単年度経営方針の一つに在庫効率の改善を掲げ、商品の品番数を削減することによる商品一点一点の完成度の向上や、シーズン当初の在庫投入量を抑制しつつ機動的な売れ筋商品の追加生産を実施すること等に取り組んでいます。これらの施策がたな卸資産の効率化につながっているものと捉えています。

長短借入金の動向

負債のうち長短借入金の残高は、前年同期末比136.3%の137億円となりました。これは2016年11月から2017年3月にかけて実施した60億円分の自己株式取得等に伴うものです。

純資産合計の動向

純資産合計は、利益剰余金が増加した一方、配当金の支払いや前述した自己株式の取得等に伴い、前年同期末比93.9%の308億円となりました。当社では今後も収益性の改善を図るとともに、利益還元の実現を図ることで、継続的な資本効率の向上を目指します。

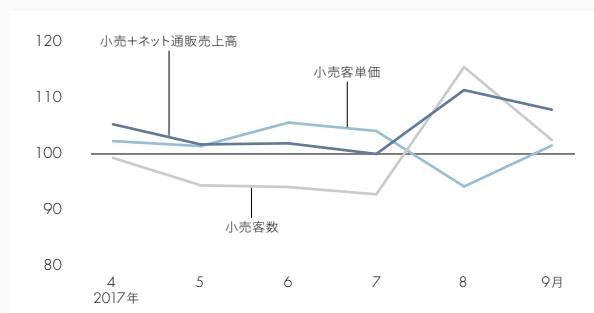
単位：百万円	2017年3月期 第2四半期末 (2016年9月30日現在)	2018年3月期 第2四半期末 (2017年9月30日現在)	2017年3月期 (2017年3月31日現在)
資産の部			
流動資産	44,610	48,033	45,152
(うち、たな卸資産)	28,626	28,147	26,210
固定資産	23,115	22,686	22,646
有形固定資産	10,936	9,715	10,209
無形固定資産	1,977	2,221	1,965
投資その他の資産	10,201	10,749	10,471
資産合計	67,726	70,720	67,799
負債の部			
流動負債	30,376	33,700	29,805
固定負債	4,459	6,146	7,012
負債合計	34,835	39,846	36,818
純資産の部			
資本金	3,030	3,030	3,030
資本剰余金	4,095	4,140	4,128
利益剰余金	25,830	29,141	29,515
自己株式	△0	△5,861	△6,000
株主資本合計	32,955	30,450	30,673
その他の包括利益 累計額合計	△62	18	△42
純資産合計	32,891	30,873	30,980
負債・純資産合計	67,726	70,720	67,799

(株) ユナイテッドアローズの既存店売上高の動向

第2四半期累計期間の既存店売上高前年同期比は小売+ネット通販売上高104.1%、客数98.0%*、客単価102.3%*となりました。販売チャネルでは、特にネット通販が既存店売上高前年同期比120.9%と高い伸びとなりました。商品別では各ストアブランドともウィメンズが好調に推移し、売上をけん引しました。小売既存店客数前年同期比は98.0%でしたが、参考値として、当社で買上客数の把握できる「ユナイテッドアローズ オンラインストア」および「ゾゾタウン」の客数も加味した小売+ネット通販既存店客数前年同期比は102.9%と前年同期を上回りました。

* 客数・客単価は小売既存店ベースで算出しています。

既存店売上高・客数・客単価 前年同期比の推移



連結損益計算書(要約)

増収、売上総利益率も改善

ネット通販の伸長や、(株)コーエン・CHROME HEARTS JP合同会社等の増収により、売上高は前年同期比107.2%の697億円となりました。また、為替の影響に伴う仕入原価率の低減や、(株)コーエンにおける値引販売の縮小等により、売上総利益率は前年同期から0.4ポイント改善し、51.2%となりました。

販管費率は前年同期から1.3ポイント低減

販管費率は、欠員の発生等があるものの、ネット通販を含む既存店販売が堅調なことに伴う相対的な人件費率の低減や、たな卸資産の効率化に伴う関連コストの低減、その他固定費率の低減等により、前年同期から1.3ポイント低減し、46.9%となりました。

各利益が増益

以上の結果、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益の全てが増益となりました。

単位：百万円	2017年3月期 第2四半期累計 (2016年4月1日— 2016年9月30日)	2018年3月期 第2四半期累計 (2017年4月1日— 2017年9月30日)	前年同期比 (%)
売上高	65,083	69,740	107.2
売上原価	32,051	34,031	106.2
売上総利益	33,031	35,708	108.1
販売費及び一般管理費	31,316	32,682	104.4
営業利益	1,714	3,026	176.5
営業外収益	124	140	113.4
営業外費用	35	42	119.8
経常利益	1,803	3,124	173.2
特別利益	—	—	—
特別損失	336	873	259.5
税金等調整前四半期純利益	1,466	2,250	153.4
法人税、住民税及び事業税	645	1,101	170.8
法人税等調整額	△42	△171	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	870	1,268	145.8

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

営業活動によるキャッシュ・フローでは、税金等調整前四半期純利益22億円、仕入債務の増加額25億円などの収入があった一方、たな卸資産の増加額19億円、法人税等の支払額12億円などの支出があったことで、44億円のキャッシュ・インとなりました。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出10億円、ソフトウェアなどの無形固定資産の取得による支出4億円や、長期前払費用の取得による支出2億円などがあったことで、18億円のキャッシュ・アウトとなりました。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、配当金の支払額16億円、長期借入金の返済による支出20億円などがあった一方、短期借入金の純増加額19億円があったことで、17億円のキャッシュ・アウトとなりました。

単位：百万円	2017年3月期 第2四半期累計 (2016年4月1日— 2016年9月30日)	2018年3月期 第2四半期累計 (2017年4月1日— 2017年9月30日)	2017年3月期 (2016年4月1日— 2017年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー (小計)	195	5,796	9,431
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,942	4,477	4,868
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,350	△1,855	△4,511
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,197	△1,704	△508
現金及び現金同等物の期末 (四半期末) 残高	3,722	6,544	5,630

キャッシュ・フローの状況
百万円